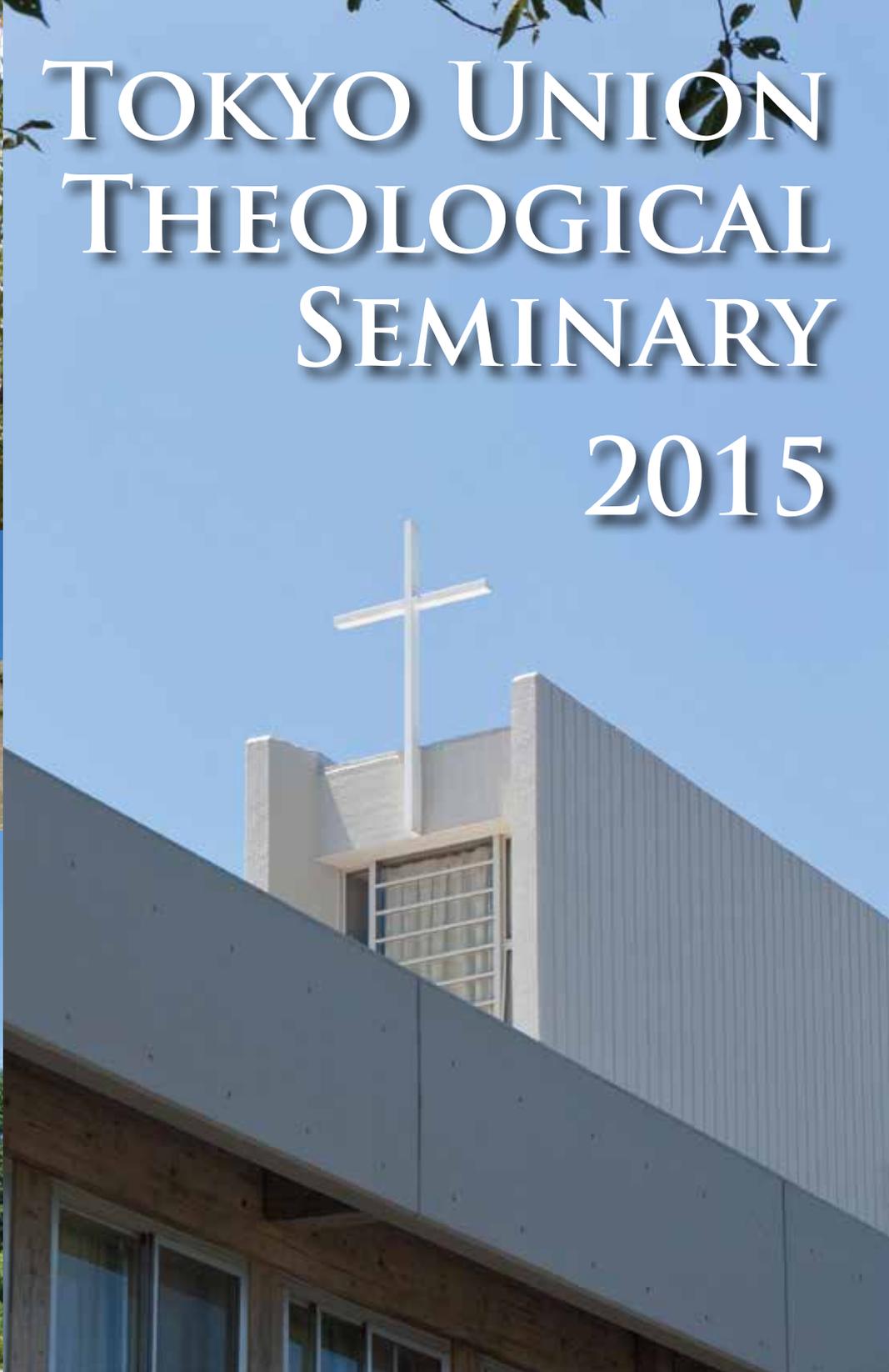


TOKYO UNION THEOLOGICAL SEMINARY 2015



東京神學大學

世界を根底から 変革し救うために

学長 芳賀 力



東京神学大学の校章の由来

東京神学大学の校章は、ギリシア語で神学を意味するテオロギア (theologia) という単語をアレンジしたものです。テオロギアとは、テオス (thos) についてのロゴス (言葉・学問) という意味です。神学の学び舎では、箸の上げ下げに至るまで、神学することが求められます。

「見よ、わたしはわたしの言葉を あなたの口に授ける」 (エレミヤ書 5:14)

「なぜ、糧にならぬもののために銀を量って払い、飢えを満たさぬもののために労するのか。わたしに聞き従えば、良いものを食べることができる。あなたたちの魂はその豊かさを楽しむであろう」(イザヤ55:2)。第二イザヤと呼ばれる預言者が神の召命を受けて神の言葉を語り始めた時、イスラエルはまだバビロン捕囚のただ中にいました。暗い谷間の時代です。人々は半ば諦めと惰性から、あるいは目先の小さな自分だけの幸福を得るために、確かな希望を抱くこともなく、その日暮らしの日々を続けるか、空しいもののために労苦していました。そのような時代に預言者が召し出されます。神の言葉を語るために。そして魂の飢え渴きをいやす本当の救いをもたらすために。一見するとそ

れは無駄な抵抗のように見えました。しかし預言者は確信しています。「雨も雪も、ひとたび天から降れば、むなしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ、種蒔く人には種を与え、食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も、むなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ、わたしが与えた使命を必ず果たす」(イザヤ55:10-11)。イエス・キリストの福音はそのような神の言葉です。神の言葉を失った現代社会に神の言葉を語るために、今こそそれを語る伝道者が求められています。日本基督教団立の神学教育機関である本学に入学し、福音を宣べ伝える神の業に、ぜひあなたも参与してほしいと思います。



大学認証評価

本学は2012(平成24)年度の公益財団法人大学基準協会の大学評価(認定評価)を受け審し、大学基準に適合していると認定されました。認定期間は2020(平成32)年3月31日までとなっています。

東京神学大学神学部神学科 アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

本学は以下のような能力・意欲等をもつ学生を求めます。

- (1) 召命を確信し現代人の問いに答える福音を語る伝道者をめざす者
- (2) 神学の学びを志す者
- (3) 神に仕え、隣人に仕える積極的な姿勢を有する者
- (4) 幅広い知識と豊かな教養を身につけ、コミュニケーション能力を高めたいと願う者
- (5) 基礎学力を有し、論理的思考ができる者

「日本の教会と神学校はなぜ合同したがるのですか？」これは以前本学を訪問した韓国の一神学大学の学生たちが、本学に合流した多様な旧教派神学校の系統図を見て発した驚きの問いです。1つの答えは様々な教会協力合同運動（エキュメニズム）を主動機とし、教派を建設する動機も絡み織りなすドラマ——これが歴史的に見た日本伝道のシナリオと言えましょう。

三段跳び式に言えば、ホップ段階の明治初期、信仰復興の福音を伝えた日本基督公会という19世紀の合同運動が、教派形成と対抗して移植されました。宣教師ブラウンの神学塾は本学の遠く遙かなる一源流です。

ステップ段階は、20世紀エキュメニズムの日本基督教連盟をエンジンとした教派の協力合同運動の時期です。この頃2つの神学教育機関、東京神学社と明治学院神学部が合同し、日本神学校が誕生しました（1930年）。

このステップの上に、第二次世界大戦時の国家による宗教団体法の超突風も加わり、当時のプロテスタント30余派は多教派間合同教会、日本基督教団へジャンプしました（1941年）。この教団の教職養成校、日本東部およ

び西部神学校、日本女子神学校が合同した日本基督教神学専門学校（1944年）を経て、戦後の1949年に新制東京神学大学が誕生したわけです。

以来、聖書と歴史的な信仰告白の資産を継承し、「教団信仰告白」を規準とした、健全な福音の伝道と諸教会に開かれた神学教育、教団形成の更なるジャンプに努める神学大学——これが本学の基本姿勢です。

東京神学大学のあゆみ

1859（安政6）年	プロテスタント諸教会の宣教師たちによる日本宣教が開始された。
1872（明治5）年	横浜に最初の教会「日本基督公会」が設立された。
1873（明治6）年	宣教師 S.ブラウンが横浜に最初の神学塾「ブラウン塾」を開講した。1877年「東京一致神学校」（のちの明治学院）が開校された。
1904（明治37）年	「東京神学社」が牧師・植村正久によって設立された。
1930（昭和5）年	本学の前身となる「日本神学校」が設立された。
1941（昭和16）年	プロテスタント諸教派の合同教団として日本基督教団が設立された。
1943（昭和18）年	教派ごとに分かれていた神学校が「日本東部神学校」「日本西部神学校」「日本女子神学校」の3校に統合され、さらに1944（昭和19）年、この3校が合流して「日本基督教神学専門学校」となった。
1945（昭和20）年	敗戦。
1949（昭和24）年	日本基督教団立の伝道者養成機関として新制大学「東京神学大学」が開校された。
1966（昭和41）年	現在の三鷹キャンパスへ移転した。
1999（平成11）年	東京神学大学創立50周年。
2012（平成24）年	「日本の福音伝道」をめぐり、日本基督教団との協力関係を再確認した。



東京神学大学所蔵の
カルヴァン『キリスト綱要』



図書館

元学長の山内眞先生は「東京神学大学は、3つのCと1つのLを結びつけて営まれる神学共同体だ」と述べられました。「3C」とは、「礼拝堂(Chapel)、授業(Class)、教会生活(Church)」で、「1L」は「図書館(Library)」という名言でした。そして生活は常に改善されて本物にさらに近づきます。

2015年度から図書館は「1L」から「3L」へ進化します。第一に、本学図書館は、従来より東アジア有数の神学専門の図書館です。古今東西のキリスト教文献等およそ12万冊（和書5万冊、洋書7万冊）を所蔵し、学内外の学生、牧師、神学やキリスト教関係の研究者に利用されています。次に新しい「L」、つまり図書館の2階に「共同学習室(Learning Commons)」がオープンします。ここで図書館の書籍・電子データが参照でき、パソコンやプロジェクター等の機器を使い、自由にグループを作り、共同学習ができます。最後に、飲み物やトーク用の「ラウンジ(Lounge)」も図書館のすぐ近くにありまから、これら新「3L」を「3C」に加えて、皆さんの本学での生活を強力にお支えすることになります。



諸活動

●公開夜間神学講座

1947年以来、信徒、役員、教会学校教師の教育のために、本学の教員を中心とした講師陣による公開夜間神学講座が行われています。日本基督教団銀座教会にて、毎週月曜日と金曜日に開講されています。

●東京神学大学総合研究所

総合研究所は、日本伝道研究所とアジア伝道研究所から成る学術的な共同研究の拠点です。それぞれ講演会、セミナー、研修旅行などを実施しています。

●刊行物

上記の総合研究所からは、研究論文や講演を載せた『伝道と神学』が毎年刊行されます。その他、神学雑誌『神学』、東神大パンフレットなどを刊行しています。特に東神大パンフレットは、諸教会における信徒教育のテキストとしても広く用いられています。



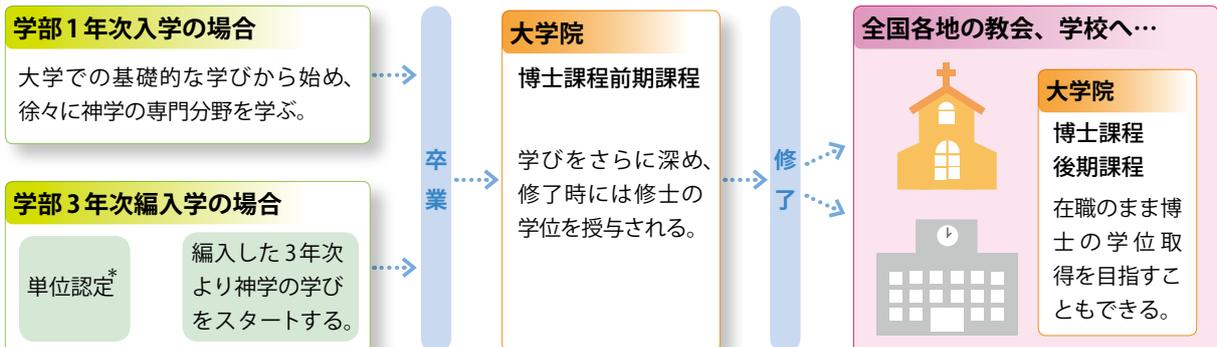
伝道者を目指す “召命共同体”

「召命」とは、「神さまの召し」「呼びかけ」です。ここで学び、教えるすべての者が、自己実現を目指すのではなく、神さまの招きと呼びかけに応じて神学の学びを志し、将来伝道者となるという決断を与えられたということです。入学試験では召命の有無を問われます。入学後も少人数教育によってさらに召命を確かめ合い、教師と学生が互いに切磋琢磨していく学び舎は、“召命共同体”にふさわしい場所となっています。また、学部から大学院までの一貫した神学教育プログラムを提供しているため、ほとんどの学生が、学部1年生から入学した場合は学部4年間と大学院2年間の計6年間、学部3年生から編入学した場合は学部2年間と大学院2年間の計4年間かけて神学を学びます。

教会による 教会のための 合同神学校

東京神学大学は、多くのプロテスタント諸教派の神学校が合流してできた合同神学校 (Union Seminary) です。神学教育機関として各神学校の伝統を引き継ぎつつ、日本のプロテスタント諸教会が総力を注いで育んだ高度な神学教育を提供しています。そのために、東京神学大学は「教会による、教会のための大学」と呼ぶことができ、神学生の必要経費の約半分は全国の諸教会の献金で支えられ、卒業後は、教会やキリスト教主義学校に仕える伝道者になります。また「神学校と教会は車の両輪である」という理念が掲げられ、教会での礼拝・奉仕・交わりの生活や牧師の指導のもと、教会に仕える訓練が大学の学びと同様に重視されます。

大学院まで一貫したプログラム



*他大学での履修状況により異なる。

キリスト教学校

にも
遣わされる

キリスト教学校に派遣されて若い魂に福音を語ることも、伝道者や牧師の働きです。本学の大切な使命の1つとして、プロテスタントのキリスト教主義中学校・高等学校における宗教科・聖書科の教師（教務教師）を養成することも挙げられます。本学では、神学教育プログラムと並行して教育職員免許状取得のための課程があり、これまでも多くの教師を送り出してきました。彼らの学校での働きの中からも、次世代を担う受洗者、献身者が起こされています。

教育職員免許状（宗教）の取得が可能

本学の教職課程は1954年に設けられ、今日まで多くの優れた聖書科教師を輩出してきました。免許状は、教会付属幼稚園の園長となる際にも有効に用いられています。さらに、免許状を取得した卒業生の多くは、教会と良い関係を築き上げ、伝道に貢献するだけでなく、キリスト教教育を通して、公教育にも貢献してきました。本学の教職課程は、キリスト教主義学校において教育と伝道の業に励みつつ、建学の精神を実質的に担う教師を養成することを目標としています。

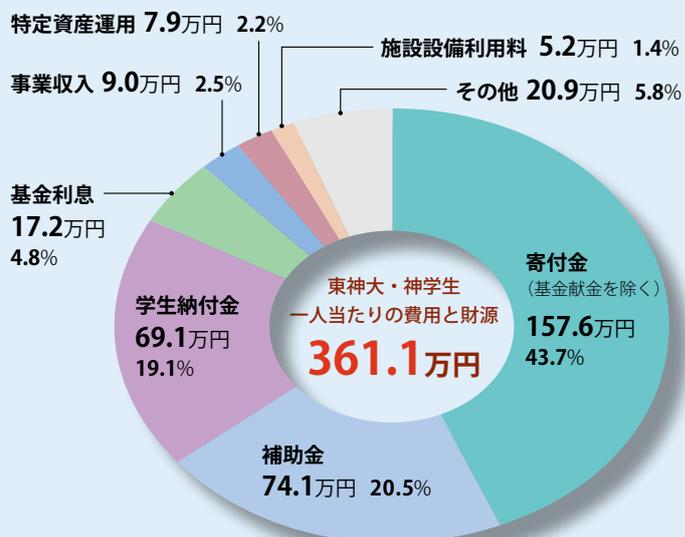
- ・中学校教諭一種免許状（宗教）
- ・中学校教諭専修免許状（宗教）
- ・高等学校教諭一種免許状（宗教）
- ・高等学校教諭専修免許状（宗教）

東京神学大学後援会の働き

皆の夢と期待を
この世の行為に
変換して捧げられる

東京神学大学に入学した方は、送り出した教会の皆さんから直ぐに神学生と呼ばれます。献身して伝道者、牧師として生涯歩もうとされている方に期待と羨望の眼と少しの心配の心を抱きながら使う言葉です。間もなくそれは心の中で主への祈りと変わります。眼を開け、祈った心は献金となります。後援会はそうした献金を集めて東神大に届ける奉仕をしています。集め方もいろいろです。教会でまとめて、あるいは個人として、毎月の方も、まとめての方もいます。呼びかけもします。皆、喜び感謝で満たされています。学報をご覧ください。

後援会長 銀座教会信徒 岩澤 嵩



神学とは？

神学とは、ギリシア語でテオロギアといいます。神（テオス）についての学問（ロゴス）という意味です。あらゆる学の中で、もっとも古い歴史を持ち、私たちと世界を創造し、御子イエス・キリストを救いのために遣わされた神について学ぶ学問です。世界を超えた御方である神を、私たちの言葉で説明する不断の訓練が、日々なされます。

聖書の成立を知り、解釈を学ぶ

聖書神学



●聖書に、何が伝えられているのか

聖書学 聖書神学とは、私たちの礼拝の中で朗読される聖書に、何が伝えられているかを解明する学問です。説教は、教会によってたてられた説教者が、聖書に基づいて語るときに、神の言葉として聞かれます。説教者が自分の思いを語るのではなく、聖書が証するキリスト御自ら語ってくださいます。

●勝手な読みこみを批判し、吟味する学問

しかしどのようにして、説教者の勝手な読み込みと、聖書それ自身が聖霊によって証言する主の御心を聞き分けることができるのでしょうか。聖書学/聖書神学は、聖書のテキストを、それらが語られた歴史の中に戻し、本来どのような歴史の中で、何を告げようとしたものなのかを解明します。またそのテキストが、どのように伝えられ、解釈されてきたかを学びます。それによって、私たちの読みを批判し、吟味するのです。学んだ人は、聖書の成立や伝承の歴史を知り、釈義の手法を身につけ、語学、文献学、文学、歴史学、考古学といった財産を得ることになります。

神の真理を総合的に明らかにし、神讚美へと至る

組織神学



●教義学を中心に、倫理学、弁証学の三分野から成る

組織神学は、神の恵みの真理を現代の文脈の中で深く探究し、責任的に証言しようとしています。「教義学」は、神の啓示を証言する聖書に基づき、父・子・聖霊なる三位一体の神とその御業を、体系的に考察します。「倫理学」は、キリスト者と教会が具体的な生活の場で、どう考え、行動すべきかを考察します。そして、「弁証学」は、現代社会にあってキリスト教に向けられるさまざまな疑問に対して、福音の真理性を明証しようとするものです。

●教会とキリスト者を支えて、神を讚美する

神学は人間の業ですから、どれも完全・絶対ではありません。常に「より深く、より明らかに」と、祈りをもって取り組まれるものです。そして、今の世に対して、「世の光」である神の真理を伝え、教会とキリスト者の信仰を支え、神を讚美します。祈りに支えられた理性的探究が神讚美に至る。それが組織神学の魅力です。



岩に彫られた
キリスト教のモノグラム

2000年の諸教会の歴史を学ぶ

歴史神学



●歴史神学 / 教会史とは

歴史神学/教会史とは、歴史学という学問的ファインダーを覗き、いわば2000年にわたり世界史道路を走行してきたキリスト諸教会バスの信仰的活動の歩みと、それらの信仰・実践の総資産を撮影し点検する学問です。「歴史神学」は、主に教会バスの燃料にあたる福音理解などの神学思想史、「教会史」は、バスの車体にあたる礼拝と祭儀、教会制度や組織的發展に注目します。それらの研究によって、現代教会の今後の形成のために具体的な諸指針を学ぶためです。

●古代から宗教改革を経て現代まで

学部では、古代から現代日本までの教会の歩みを辿る教会史Ⅰ～Ⅴ、教理史（選択）、世界と日本の宗教史、ラテン語（選択）などを学びます。大学院では、古代から現代までの欧米、日本の教会の教理史、神学思想史、霊的生活史などの科目が開講され、学部での学びが更に深められるようコースが用意されています。

神学する

神学は“学ぶ”だけでなく“神学する”もの。その本質は、講義や実習・独習に限らず、寝食を含む生活場面すべてにおいて神の真理を追究し、ときに情熱的に、あるいは理論的に日々格闘するように神学に励むことを意味します。

福音伝道の実際と結びつけて学ぶ

実践神学



●神の実践に参加するために

実践神学のルーツは、「牧者の学」「司牧学」にあります。しかし、「牧師の実践」にまさって、「神の実践」すなわち「神の救済行動」が主題ですから、今日では「実践神学」と呼んでいます。牧師の務めは、神の実践に参加させていただくことです。神の救済行動の中で、人間が神の道具として用いられるために「説教学」「礼拝学」「牧会学」「キリスト教教育学」の学びが必要になります。

●神学諸科を統合する課題も

そもそも神学全体が生きておられる神を神として崇め、神の実践にお仕えるためにあります。教会やキリスト教学校での働きには、神学的な知識、能力を総動員することになります。そのため実践神学には、神学諸科を統合して、教会や学校での実践に結びつけるという課題もあります。

教員紹介

- ① 略歴
- ② 研究、関心領域
- ③ 主な担当科目



朴 憲郁 パク ホンウク

- ① 1974年東神大大学院卒。監理教神学大学研修。韓国イエス教長老会神学大学大学院卒。独テュービンゲン大学神学部博士課程卒（神学博士）。在日大韓基督教会正教師（現在、日本基督教団への宣教師）。1994年着任、現在、教授。
- ② キリスト教教育、アジア・キリスト教伝道学、新約神学。
- ③ キリスト教教育概論、アジア伝道論演習、キリスト教教育特講など。



中野 実 なかの みのる

- ① 1987年東神大大学院卒。米クレアモント大学院大学宗教学部博士課程卒（哲学博士）。日本基督教団正教師。2001年着任、現在、教授。
- ② これまで信仰と歴史の関係に神学的関心を抱きつつ、史的イエス研究、福音書研究に従事。現在、ヘブライ書の研究も開始し、註解書を執筆中です。
- ③ 新約聖書神学、新約聖書釈義、新約聖書学特講など。



芳賀 力 はが つとむ

- ① 1979年東神大大学院卒。独ハイデルベルク大学神学部博士課程卒（神学博士）。日本基督教団正教師。1988年着任、現在、教授。
- ② キリスト教組織神学（教義学、倫理学、弁証学）。現在『神学の小径Ⅰ－啓示への問い』、『神学の小径Ⅱ－神への問い』で、キリスト教信仰の新しい体系的考察に取り組んでいます。物語る教会を土台にした教会の教え（教理）の再構築です。
- ③ 組織神学、組織神学演習など。



関川 泰寛 せきかわ やすひろ

- ① 英エディンバラ大学神学部卒。1983年東神大大学院修士課程卒（神学修士）。日本基督教団正教師。1996年着任、現在、教授。
- ② 古代教会史、教父学など。古代の教会史・教理史の研究をしています。4世紀の正統と異端の論争、教理と礼拝や霊性との関係、キリスト論や三一論の形成など。主著に『アタナシオス神学の研究』があります。
- ③ 教会史、教理史演習など。

パストラルケア担当



ウェイン・ジャンセン Wayne Jansen

- ① 米ウェスタン神学大学大学院博士課程卒（牧会学博士）。米国改革派教会正教師（現在、日本基督教団への宣教師）。2002年着任、現在、教授。
- ② 学生の相談を受けるパストラルケアセンターの室長です。「臨床牧会教育」を担当し、受講者が自らの個人的な課題を把握することを通し、より有能な牧会者になることが目的です。
- ③ 牧会心理学、臨床牧会教育、教会実習など。

パストラルケアセンター



パストラルケアセンターは、担当教員による個人的な面接を行うことはもちろん、コーヒーを飲みながら、小グループで聖書研究や現代の課題について話し合う場として用いられています。



須田 拓 すだ たく

- ① 2000年東神大大学院卒。英ケンブリッジ大学神学部留学。東神大博士課程修了（神学博士）。日本基督教団正教師。2013年着任、現在、常勤講師。
- ② 神が三位一体のお方であることが信仰全体にどのように影響しているかや、神の御業と人間の自由の関係について、また17世紀イギリス・ピューリタン神学の現代における意義について研究しています。
- ③ 組織神学、組織神学演習、キリスト教通論など。



大住雄一 おおすみ ゆういち

- ① 1983年東神大大学院卒。独ペーテル神学大学卒（神学博士）。日本基督教団正教師。1990年に着任、現在、教授。
- ② トーラーの解釈。旧約を読むと、律法は人を縛るものではなく、喜びであり、恵みとして讃美されています。律法とは何でしょう。教会でもその恵みを共に味わいたい。その恵みを探す研究です。
- ③ 旧約聖書神学、旧約聖書原典釈義など。



棚村重行 たなむら しげゆき

- ① 1977年東神大大学院卒。米シカゴ大学神学部博士課程卒（哲学博士）。日本基督教団正教師。1993年着任、現在、教授。
- ② 19世紀アメリカ神学思想史、19世紀日本プロテスタント神学思想史など。2009年に『二つの福音は波濤を越えて』を出版しました。現在は、『二つの福音は山河を越えて』というテーマで、日米神学思想関係史の研究を続けています。2014年度には「英米日・福音主義の歴史」というゼミも開講しました。霊的生活史では、三位一体の神の像とその回復を主題とし、学びを続けています。
- ③ 教会史、教会史特講など。



神代真砂実 こうじろ まさみ

- ① 1987年東神大大学院卒。英アバディーン大学神学部博士課程卒（哲学博士）。日本基督教団正教師。1998年着任、現在、教授。
- ② 教義学、特にカール・バルトの神学思想。キリスト教の信仰内容を体系的に関連づけたり、現代社会とキリスト教との関係を考える分野が専門です。「ミステリとキリスト教」ということとさえ扱えます！
- ③ 神学通論、組織神学、組織神学演習など。



小友 聡 おとも さとし

- ① 1986年東神大大学院卒。独ペーテル神学大学卒（神学博士）。日本基督教団正教師。1999年着任、現在、教授。
- ② 旧約聖書およびユダヤ教の黙示思想など。旧約聖書の中で後期の文学が研究領域。コヘレトの言葉やダニエル書など周縁的な文書から旧約（ユダヤ教）の思想や倫理を探求しています。コヘレトの言葉と黙示思想の関係に関心があります。
- ③ 旧約聖書神学、旧約聖書原典釈義など。



焼山満里子 やきやま まりこ

- ① 1997年東神大大学院卒。米クレアモント大学院大学宗教学部博士課程卒（哲学博士）。日本基督教団正教師。2007年着任、現在、准教授。
- ② 新約聖書、特にパウロ研究。パウロの伝道、教会形成について、またパウロ教会を中心とした初期キリスト教思想形成を研究しています。
- ③ 新約聖書神学、新約聖書釈義など。



小泉 健 こいずみ けん

- ① 1997年東神大大学院卒。独ハイデルベルク大学神学部博士課程卒（神学博士）。日本基督教団正教師。2008年着任、現在、准教授。
- ② 説教学、教会建設論など。宗教改革者は教会を「御言葉の創造物」と呼びました。説教が教会を建設するとはどういうことかを、改めて探求しています。そこから教会のあらゆる営みへと課題が広がります。
- ③ 実践神学概論、説教学演習など。

教職課程担当



長山 道 ながやま みち

- ① 2002年東神大大学院卒（神学修士）。現在、独ボン大学神学部博士課程在籍。日本基督教団正教師。2013年着任、現在、常勤講師。
- ② キリスト教教育学、組織神学。「すべてのキリスト教教育は信仰への道である」というコンセプトのもと、福音伝道としてのキリスト教教育に実践神学的・組織神学的にアプローチします。
- ③ 教育基礎論、独語神学書講読（組織）など。



田中 光 たなか ひかる

- ① 2008年東神大大学院卒。加トロント大学ウィクリフ・カレッジ神学修士課程卒（神学修士）。東神大博士課程後期過程単位取得退学。日本基督教団補教師。2015年着任、現在、助教。
- ② 旧約聖書、特に預言書、また旧約カノンの意義（B. S. チャイルズの思索を中心に）などに関心があります。更に、旧約の教会における解釈、特に古代教父の解釈にも大きな関心を寄せています。
- ③ 聖書通論（旧約）、旧約聖書学部演習など。

CURRICULUM

学部 ★必修科目 ☆選択科目 *選択必修科目 ◇専攻必修科目

2014年度より新カリキュラムが導入されたため、編入学生については、一部科目の扱いに違いがある。

	1年	2年	3年	4年	
外国語科目・保健体育科目 学際基礎科目・神学基礎科目	【学際基礎科目】 *哲学思想史 *キリスト教と世界史 *キリスト教と文学1 世界文学 *キリスト教と文学2 日本文学 *キリスト教と芸術1 美術史 *キリスト教と芸術2 音楽史 *心理学 *社会史 *法と人権1 法学概論 *法と人権2 日本国憲法 *宗教と社会1 デモクラシーと政治 *宗教と社会2 ウェーバーとトレルチ *精神医学とキリスト教 *現代の自然観 *生命の理解とバイオエシックス *保健衛生 *情報基礎	【神学基礎科目】 ★キリスト教通論Ⅰ・Ⅱ ★聖書通論1 旧約通論 ★聖書通論2 旧約時代史 ★聖書通論3 新約通論・歴史 ★神学通論 【外国語科目】 ★英語ⅠA ★英語ⅠB ☆英語Ⅱ ☆英語実践Ⅰ・Ⅱ ★ドイツ語ⅠA ★ドイツ語ⅠB ☆ドイツ語Ⅱ 【保健体育科目】 ★体育Ⅰ・Ⅱ	1年次入学者は、原則としてこれらの科目を2年間かけて履修・修得する。 3年次編入学者の場合、神学通論を除き、基本的にこれらの科目が認定されるが、履修を奨励している。		
専門教育科目		【聖書神学関係】 ★旧約聖書神学Ⅰ・Ⅱ ★新約聖書神学Ⅰ・Ⅱ ★ギリシャ語Ⅰ・Ⅱ 【組織神学関係】 ★組織神学Ⅰ 【歴史神学関係】 ★教会史Ⅰ・Ⅱ 3年次編入学者は、3年次に履修・修得する。	【聖書神学関係】 ◇ヒブル語Ⅰ・Ⅱ ☆イスラエル古代史 【歴史神学関係】 ★教会史Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ ★宗教史Ⅰ ☆宗教史Ⅱ (編入学者は必修) 【古典語】 ☆ラテン語Ⅰ・Ⅱ 【神学書講読】 *英語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ *独語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ *英語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ *独語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ *英語神学書講読・組織歴史Ⅰ・Ⅱ 【組織神学関係】 ★組織神学Ⅱ 【実践神学関係】 ☆教会実習Ⅰ・Ⅱ ☆牧会心理学 ☆臨床牧会教育 ☆教会教育入門 ☆説教学入門	【聖書神学関係】 ★旧約聖書神学Ⅲ ☆旧約聖書神学Ⅳ ★旧約聖書積義 ★新約聖書神学Ⅲ ☆新約聖書神学Ⅳ ★新約聖書積義 ◇新約原典講読Ⅰ ☆新約原典講読Ⅱ ☆新約時代史 【組織神学関係】 ★組織神学Ⅲ 【歴史神学関係】 ☆アメリカ教会史 ☆教理史Ⅰ・Ⅱ	【実践神学関係】 ★実践神学概論 ★キリスト教教育概論 【専攻間共同科目】 ☆アジア伝道論演習 【学部演習】 *旧約聖書学部演習 *新約聖書学部演習 *組織神学学部演習 *歴史神学学部演習
教職課程科目	教職概論 3年次編入学者は、3年次に履修・修得する。	教育基礎論Ⅰ・Ⅱ 宗教科教授法A・B	心理発達と教育 道徳指導法 特別活動指導法 教育的指導と相談の研究Ⅰ・Ⅱ	教育の方法と情報技術Ⅰ・Ⅱ 教職実践演習(中・高) 教育実習Ⅰ・Ⅱ	

※教職課程科目は、教育職員免許状取得希望者対象。免許状取得に必要な科目の履修・修得には最低でも3年間を要するが、3年次編入学者は、大学院修了までに専修免許状取得を目指すことができる。

研究科(大学院) + 実践神学研修課程として、原則的に必修。

前期課程	後期課程
【聖書神学関係】 旧約聖書原典講読Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書原典積義Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書神学特講Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書学特研Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書学演習Ⅰ・Ⅱ 聖書考古学 アラム語 シリア語 アッカド語 古代オリエント史Ⅰ・Ⅱ 新約聖書学特講Ⅰ・Ⅱ 新約聖書学演習 新約聖書学特研Ⅰ・Ⅱ 新約聖書原典積義Ⅰ・Ⅱ 【歴史神学関係】 教会史演習 教理史演習Ⅰ・Ⅱ 教会史特講Ⅰ・Ⅱ 教理史特講Ⅰ・Ⅱ 英国教会史 【実践神学関係】 宗教社会学演習 教会音楽 キリスト教教育特講 牧会心理学特講 牧会カウンセリング特研 キリスト教教育特研 実践神学演習 臨床牧会教育 牧会心理学 +礼拝学演習 +説教学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ +牧会学演習 総合特別講義 【組織神学関係】 組織神学特講Ⅰ・Ⅱ 組織神学特研Ⅰ・Ⅱ 組織神学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 信条学	【聖書神学関係】 旧約聖書神学特殊研究 旧約聖書文学特殊研究 旧約聖書原典特殊研究 聖書語学特殊研究 聖書考古学特殊研究 新約聖書神学特殊研究 新約聖書原典特殊研究 聖書解釈学特殊研究 原始キリスト教特殊研究 【歴史神学関係】 神学史特殊研究 宗教改革史特殊研究 日本宗教思想史特殊研究 教父学特殊研究 【実践神学関係】 キリスト教化学特殊研究 キリスト教教育特殊研究 【論文演習】 博士論文指導演習聖書神学 博士論文指導演習組織神学 【組織神学関係】 教義学特殊研究 現代神学特殊研究 宗教改革神学特殊研究 現代哲学特殊研究 組織神学共同演習 キリスト教社会倫理特殊研究



神学の学びと研究は、教会で福音が正しく、より深く生き生きと語られるようになるためのもの

組織神学は、聖書の伝える神とはどのようなお方か、その神は私たちに何をしてくださっているのかを、論理的体系的に理解しようとする学問です。近年は、神がただお一人の神であるというだけでなく、父・子・聖霊なる三位一体の神であることが信仰全体にどのような影響を与えているかが探究されるようになりました。そして、天地創造や救済といった神の御業をこの観点から説明することで、私たちに与えられている信仰をより深く理解することが模索されています。

私自身は、その視点を共有しつつ、既に17世紀に同じ関心を持っていたイングランドのピューリタンがあることにも着目しています。日本の教会は、国が教会を建てる国教会では

なく、私たちが自発的に伝道し教会を形成して行く自由教会の形態をとっていますが、そのピューリタンたちは、国教会から離れて自由教会を形成した人々でもありました。その神学を学ぶことは、現代の日本の教会の信仰とそのあるべき姿が整えられて行くための助けにもなるはずと思います。

神学の学びと研究は、教会で福音が正しく、そしてより深く、生き生きと語られるようになるためのものです。それを通して、日本伝道、そして世界伝道に仕えたいと思います。

● 須田 拓 (すだ たく)

東京大学理学部数学科を卒業後、本学に編入し、東京神学大学大学院、ケンブリッジ大学大学院で学び、現在、東京神学大学常勤講師として組織神学の講義を担当。神学博士。日本基督教団橋本教会の牧師を兼務。温厚な人柄のうえに明晰な頭脳で、キリスト教信仰の核心を的確に弁証。ピューリタンの神学者ジョン・オーエンの研究を継続中。

一般時間・公開授業など多彩な学び

一般時間には、外部から著名な講師を招いての講演会、本学の教員によるフォーラム、さらには学生会の総会や懇談会など、年間を通じて多彩なプログラムが実施されます。学部生・大学院生共に神学と諸学の学び、学生生活を共有する貴重なひと時です。また、国内外の講師による公開授業も行われます。



セント・アンドリュース大学
スコット J. ヘイフマン博士による
公開授業



神学フォーラムII



博士課程後期課程
研究発表会



神学フォーラムI



全学集会



STUDENT LIFE

2015年度入学式



日本伝道を担う青年の集い



運動会



日本伝道を担う青年の集い



4

5

6

7

8

9

4月 入学式・宣誓式／オリエンテーション／クラス別懇談会
5月 全学懇談会／学生総会／運動会
6月 博士課程後期課程研究発表会

7月 夏期伝道実習オリエンテーション／夏期伝道実習壮行祈禱会
8月 夏期伝道実習
9月 夏期伝道実習報告会／修士論文提出締切
日本伝道を担う青年の集い

●学内礼拝

キャンパスでは、毎日学内礼拝が行われています。教師と学生が共に集って礼拝を捧げることで、知性を生かす靈性を養い、召命共同体であるとの自覚を深めます。

●クラス

学年ごとにクラスがあります。クラスには担任の教員がおり、週に1度のクラス別祈禱会で共に祈り、学び、助け合います。卒業後も交流は続き、キリストに呼び集められた同労者として、長く支え合う牧師たちも少なくありません。

●日本伝道を担う青年の集い

毎年9月の第4土曜日に開催される集いです。共に礼拝を守り、テーマごとの分団、祈りとディスカッションを通して、全国の教会の集う青年たちが親交を深める機会です。参加者の中には、献身の志を与えられる者もいます。

留学生の声

一人では学べない神学

日本で伝道するために東京神学大学に入学し、4年経ちました。最初の頃は、言葉の壁や、文化の違い、そして初めて学ぶ神学の勉強など、大変苦労しました。しかし、先輩方に勉強を教えていただいたり、クラスメイトと励まし支え合いながら、4年間歩んできたことができました。

また留学生同士の繋がりが深く、困ったときに助け合うこともできます。経済面で大変だったときも先生方が親身に相談に乗ってくださり面倒を見てくださいました。このような多くの支えを受け、ここで与えられた仲間と共に日本の地で伝道していくことを夢見て、日々勉強に励んでいます。

2014年度
神学部神学科4年
金 允道



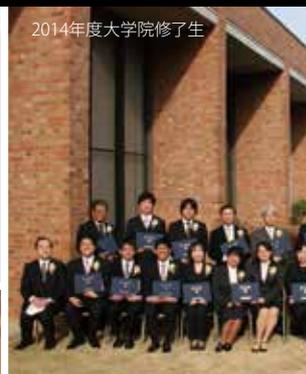
留学生懇談会



クリスマス愛餐会



クリスマス愛餐会



2014年度大学院修了生



2014年度学部卒業生

10 11 12 1 2 3

10月 神学校日・説教奉仕

11月 全学修養会

12月 オープンキャンパス

クリスマス礼拝／クリスマス愛餐会

1月 教職セミナー

2月 アジア伝道研修旅行（隔年）

3月 卒業礼拝／卒業・修了式

●神学校日

毎年10月の第2日曜日の「神学校日」を中心に、神学生および教員が全国各地の教会に派遣され、説教奉仕を行います。同時に、祈りと献金によって東京神学大学を支えてくださる諸教会に改めて感謝する機会でもあります。

●教職セミナー

毎年1月、全国から牧師たちが3日間寝食を共にしながら、講演やシンポジウム、分団等のプログラムを通して、今日の教会の課題を神学的に話し合うひと時です。卒業生だけでなく、本学大学院最終学年の神学生や他教派の教職者も参加できる研修会です。

●アジア伝道研修旅行

授業でアジア諸国の文化とキリスト教の歴史や課題を学んだ後、現地を訪れて、見学・交流を通してアジアの教会を知る研修旅行です。本学教員と神学生有志によって、隔年で実施されています。

学内行事紹介

「全学修養会」

1年に1度、秋に行われる全学行事です。学内外から講師を招き、神学生たちが自主的に主題を定め、プログラムを計画し、実行します。全学生が一堂に会して神学の学びを深めます。また、上級生や下級生と語らう機会であると同時に、教員と神学生が寝食を共にして、祈りと修養のひと時をもちます。



修養会委員



閉会礼拝



分団でのディスカッション

夏期伝道実習

夏期伝道実習とは？

学部4年生と大学院1年生は「夏期伝道実習」に派遣されます。夏休みの4週間強がこれに充てられます。この期間、全国各地の教会に遣わされて、教会に住み込み、礼拝説教をはじめとするさまざまな奉仕にあたり、伝道者の生活を体験します。



POST CARD



2014年度
学部4年 **今井裕子**

初めての夏期伝道実習に行ってきました。埼玉の聖学院教会と上尾使徒教会の皆様にあたたかく迎えていただき、一か月どっぷり教会の中で生活。教会という神の家族でのホームステイでした。始まる前から皆様に祈られ、準備をさせていただいていたことを嬉しく感じました。祈祷会、家庭集会、牧師面談、地域の教会や学校との繋がりなど、御言葉で呼吸する牧師の生活に密着して、今学んでいる神学が教会生活の隅々で生きてくると知るとともに、それを生かすためには祈りと経験が必要であることを痛感しました。実習のクライマックスとなる初めての説教に向けて、牧師先生方が直接的にも間接的にも熱くご指導くださり、何より主なる神様が備えてくださいました。ハレルヤ！

ある日のスケジュール

- 8:00 宿泊の上尾使徒教会で支度
- 10:00 上尾使徒教会 祈祷会
- 11:30 松本先生から牧会祈祷の指導
- 13:00 休憩・自習(祈祷会奨励準備など)
- 17:00 聖学院教会へ 夕食
- 18:30 聖学院教会 祈祷会 奨励
- 20:00 上尾使徒教会へ帰宅
洗濯・シャワー
- 23:00 就寝



POST CARD



2014年度
大学院博士課程前期課程1年 **竹井真斉**

私は大分県にある5つの教会(由布院、杵築、国東、宇佐、豊後高田)に行きました。昨年は大阪府の枚岡教会で実習しました。どちらも初めての土地でしたが、昨年は本場のたこ焼き、今年はとり天を味わうことが出来ました。夏期伝道実習において、自分が知らない場所に遣わされ、その地の産物を満喫することも実習の楽しみの1つと言えるでしょう。しかし実習で何よりも楽しいのは、教会の皆さんとの交わりです！ 神様に繋がっていなければ出会えなかった人々と共に食事をし、証をしあうことの出来る交わり。そして御言葉を取次ぐために、御言葉と四六時中向かい合って、それまで気づかなかった御言葉の深みと交われること。何物にも代え難い交わりが夏期伝道実習にはあります。伝道の楽しさがここに 있습니다。

ある日のスケジュール

- 7:00 起床
- 8:30 幼稚園の夏期保育の手伝い
- 9:00 祈祷会へ出発
- 10:30 国東教会の祈祷会
- 13:00 杵築教会の祈祷会
- 18:00 教会員との夕食
- 21:00 入浴
- 0:00 就寝



学生寮

東京神学大学の学生寮って？

学生寮は、伝道者としての召命を尊重し合い寝食を共にする「召命共同体」です。キャンパス内にある男子寮と女子寮には全学生の半数近くが住んでいます。寮生は礼拝や共同生活、寮行事などの交わりの中で、共に祈り支え合いながら学ぶ喜びを実感します。



学生寮入口にあるネームプレート



後期親睦会



朝の寮拝



校宅をキャロリング



はばたけ！
こぼと寮！

男子寮

2014年度寮長
岩住啓太

「寮に住めれば、どこにでも住める」と先輩牧師によく言われます。その寮の環境も、2011年にエアコンが、2014年には風呂のガス給湯器が設置されることで、向上しています。また年齢や経歴の様々な寮生との共同生活を通して隣人への奉仕を学び、「どこにでも住める」伝道者へと整えられているのだと思います。諸教会の祈りと献金、大学の協力によって支えられていることを感じつつ学びに取り組める場所です。



上：男子寮の一室。下：男子寮は大浴場。



窓の外の森は
北欧のようです！



女子寮

2014年度
女子寮委員
乾 元美

年々女性の神学生が多くなり、2014年からは1、2階だけだった女子寮が3階まで拡張され、多くの方を受け入れることが出来るようになりました。それぞれ個性もあり、得意なこと苦手なことがある中で、お互いに支え合い、祈り合いつつ、召された仲間として共に生活しています。先輩に相談したり、隣の人にご飯をもらったり、寮生活だからこそ味わえるおいしいことも、たくさんあります！



女子寮の一室

左：共用のキッチンスペース。
中：各階の入り口付近の様子。コルクボードには様々な連絡情報が貼ってある。右：新しくなった女子寮の浴室。

卒業後は… 日本中で伝道しています！

卒業生は、全国各地の教会の牧師やキリスト教主義学校の教師としての働きをしています。

2014年9月現在の現職者の人数とそこから5名の卒業生を紹介します。

近畿地方

牧師 **85** 名

学校教師 **3** 名

中国地方

牧師 **28** 名

四国地方

牧師 **43** 名

九州・沖縄地方

牧師 **40** 名

学校教師 **7** 名

中部地方

牧師 **116** 名



具志堅 篤

(日本基督教団 読谷教会)

沖縄国際大学文学部英文学科卒。社会人経験を経た後、1998年に東京神学大学大学院修了、日本基督教団読谷教会に就任。2000年12月、牧師按手。

Profile

Q. 現在のお働きについて教えてください。

奉仕教会に加え、老人施設療養者のための説教、児童施設職員のための「聖書研究」指導をしています。また、教団教育委員会、沖縄キリスト伝道会代表、西日本教会青年同盟などの働きもしています。

Q. 東神大での学びをふりかえって、いかがですか。

「神学する」、一言で言えば、「霊」を識別する力を身に付けるということ。「神の言葉」か「人の言葉」か、それを識別する術を東神大で学ばせていただきました。



読谷教会



浅場 知毅

(日本基督教団 宮崎中部教会)

2008年に東京神学大学大学院修了、日本基督教団福岡中部教会の伝道師に就任。2011年1月、牧師按手。同年4月から現任地。

Profile

Q. 現在のお働きについて教えてください。

主日礼拝の説教奉仕が主な務めです。その他、聖書研究祈禱会の奨励、長老会、諸集会の指導、訪問、祈りなどを通して神の言葉と教会に仕えています。

Q. 東神大での学びをふりかえって、いかがですか。

東神大は主の教会を形成するために必要な学びを与えてくれました。牧師の務めにおいて、東神大での学びが全てに用いられています。



宮崎中部教会

北海道地方

牧師 **18**名 学校教師 **5**名



松本 紳一郎

(日本基督教団 函館教会)

工学部を卒業後、民間企業の研究所に勤務。定年2年前に退職し、東京神学大学に編入、2010年に東京神学大学大学院修了、日本基督教団函館教会に就任。2013年牧師按手。

Profile

Q. 現在のお働きについて教えてください。

明治初期に建てられた地方都市の教会です。60代半ばの牧師も教会では貴重な若手。キリスト教学校中高生ほか幼稚園、旅行者にも伝道の機会があります。

Q. 東神大での学びをふりかえって、いかがですか。

主に召された者が共に学ぶ共同体において、先生方や同労の友と出会い、卒業後も折に触れて祈りと指導や励ましをいただけることが大きな力です。



函館教会

東北地方

牧師 **69**名 学校教師 **12**名

関東地方

牧師 **343**名 学校教師 **65**名



箕口 窓香

(女子学院中学校高等学校)

国際基督教大学卒業後、就職先で導かれ受洗し、東京神学大学学部3年に編入。2011年に東京神学大学大学院修了、4月より女子学院に勤める。

Profile

Q. 現在のお働きについて教えてください。

主日は夫が牧会をしている三崎町教会にて礼拝を守らせていただき、月～金までは中学校・高等学校の聖書科の授業、礼拝奉仕を担当させていただいています。

Q. 東神大での学びをふりかえって、いかがですか。

専攻した組織神学の他に聖書・教会史、ギリシャ語・ヘブライ語の基礎、良い文献を教えていただいたこと、夏期伝道実習での経験が役立っていると感じています。



内城 恵

(日本基督教団 羽咋教会)

聖和大学キリスト教教育学科卒業後、2002年に東京神学大学大学院修了、日本基督教団羽咋教会に就任。2004年秋、牧師按手。

Profile

Q. 現在のお働きについて教えてください。

北陸・能登の地における伝道・牧会に遣わされて13年。主の教会に仕え、地に根ざしてこそ得られる実りの喜びのうちに日々励んでいます。

Q. 東神大での学びをふりかえって、いかがですか。

御言葉に向き合う姿勢と重みについて学びました。この姿勢によって、喜びのときにも困難なときにも伝道者として生かされる恵みを知らされています。



羽咋教会

学校教師 **17**名





PHOTO: Nanako Ishiwatari

東京神学大学

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-30

TEL: 0422-32-4185

FAX: 0422-33-0667

E-mail: tuts@tuts.ac.jp

URL <http://www.tuts.ac.jp/>

東京神学大学では毎年11月・2月・3月に入学試験を行います。
学生募集要項の請求やお問い合わせは、教務課入試係まで。

- JR中央線 東京駅から 武蔵境駅まで約40分
- JR中央線 武蔵境駅南口から小田急バス
2番乗場 境93系統「国際基督教大学」
3番乗場 境91系統「柏江駅北口」
4番乗場 吉01系統「吉祥寺駅」いずれも『西野』下車 徒歩5分
- JR中央線 三鷹駅南口から小田急バス
2番乗場 鷹51系統「国際基督教大学」「調布駅北口」、
「武蔵小金井駅南口」いずれも『西野』下車 徒歩5分

